



## 今月のニュース | #50Pキャップ増産プロジェクトの進捗について |



- ◆ 千葉工場で作りだめ順調。置き場不足で仮置き発生も対応中。
- ◆ 千葉工場新ラインはポリ栓セット機が完成間近。
- ◆ 金型は東西分を千葉技術課で製作。こちらもほぼ完成。
- ◆ 大阪工場新ラインは10月末稼働開始へは遅れ無し。
- ◆ 大阪工場へ新ラインスペース確保の為、N-6L、C-12を6月中に勝央移設へ。

引き続き、各部署でのご対応をお願いいたします。

## 永年勤続表彰 | 長らくの勤続に感謝 |

今月は大阪事業所で永年勤続表彰があり、表彰の皆さんと懇親会食をさせていただきました。入社経緯や職場のお話や、仕事外の話でも楽しいひと時となりました。

- 15年 澤崎 裕紀 (大阪工場 製造課)
- 10年 宮路 一史 (大阪営業所 営業課)
- 10年 廣川 由美子 (大阪工場 製造課)

※敬称略



皆さん、おめでとうございます。長年の勤続に感謝するとともに、今後ご活躍を期待しております。次回、東京千葉メンバーの永年勤続表彰を9月11日(金)に予定しております。

## 草取り成果 | 千葉管理課 高橋さん・赤塚さん |



千葉工場の正門前は夏季を迎えて、水仙などの植物が特に元気になってきました。千葉管理課の高橋さん、赤塚さんが除草して綺麗にしてくださいました。会社の顔でもある部分なので、有難いです。加藤造園様、東葉アメニティ様と維持管理しながら、さらに日頃より除草作業を助けていただける社内の皆さんにも感謝いたします。他事業所でも、美観対応にご協力をお願いいたします。

## 5月までの業績 | 売上・営業利益ともに計画プラスで推移 |

	計画	実績	計画比	昨年比	12月迄成行	2025年度
売上	200,972	205,496	4,524	13,731	493,233	479,407
			102.3%	107.2%		
営業利益	11,530	13,652	2,122	-2,933	23,745	34,529
			118.4%	82.3%		

一時は中東情勢影響による前倒し注文が多く、時間外対応などお疲れさまでした。現在は落ち着きを取り戻し、副資材等の調達も繋がっているようです。下半期は当社も値上げ活動に転じ、安定経営を図って参ります。

## 社内インフォメーション | 社内及びサブヒロハマ人事のお知らせです |

【6月16日より】

功刀 文明 旧 サブヒロハマコーポレーション 出向 課長代理  
 新 サブヒロハマコーポレーション 出向 主幹  
 ※役職定年に伴う再任命

鈴木 博文 旧 サブヒロハマコーポレーション 係長  
 新 サブヒロハマコーポレーション 課長 (昇進)



会長コラム

<「失敗学」から学ぶ>(21)

【(9) ミスや失敗を評価につなげるための10のマインド】(2)



8) 「ベスト」についての考え方を考える

完璧を求める方の中には「自分史上最高なこと以外は、失敗」とばかりに、はたから見たら普通なことにも次々「ミス」「失敗」というラベリングをしていく方がいます。

もちろん、いかなる仕事に対してもより良い出来を求めるというのは働く人の鑑(かがみ)です。しかし、そのために自分のコンディションを常に最高の状態に保てるかということ、それは無理なのではないでしょうか。

まさに仕事のための人生となってしまう、毎日が息苦しくなってしまいます。

体調が悪かったり、やりづらい環境だったりしたときは、そこでそのときにできることが、「自分のベスト」。そうやって開き直ったうえで、くよくよ考えないことが大切です。

9) ミスに「慣れる」

人生訓として、よく、「挫折経験のある人は、底力がある」といいます。

挫折から這い上がったことで、その人の実力が高まった、ということもありますが、それ以上に、「失敗やミスへの慣れ」の力もあると思います。

挫折というのは、大きなミスや失敗で、意欲や気力がなくなった状態です。しかも、それが一瞬ではなく、多くの場合、ある程度継続します。それだけのマイナスの経験があれば、ちょっとやそっとのミスや失敗には動じなくなり、またマイナスに振れたときの対処法もある程度わかっている、といえるでしょう。「慣れる」ということも、ミスや失敗にうまく対処するためには、大事なことなのです。

10) ミスや失敗と適度な距離感を保つ

ミスや失敗をしてしまって、どうにもその後悔や苦悩から抜け出せない、と思ったときには、一段高いところから、そうやって後悔したり苦悩したりしている自分を眺めるようにすることを、心がけてみてください。そして、「なぜ、この人から指摘されると、腹が立つのだろう」と分析してみるのです。自分の心を占拠している「嫌な気分」から距離をとった、視点を変えた分析が大切です。

このような分析をすることで、ミスや失敗と、自分自身との距離感が正しくとれるようになってきます。様々な観点で、「失敗学」から学んできました。

振り返ってみれば、安全にしても品質にしても、過去のミスや失敗を教訓として、現在のレベルにまで上げてきた経緯があります。

これから先も、ミスや失敗は起こりうると思いますが、その際には、変に言い方になりますが「せっかく起きてしまった」ミスや失敗を最大限生かして次につなげていきましょう。

廣瀨 泰久